



9月定例会において全議員起立により、産廃受け入れの議決を満場一致で白紙撤回としました。

産廃受け入れの議決

白紙撤回へ

市浦村議会9月定例会は、9月6日から9日までの4日間の会期で開かれました。定例会では、昨年10月16日の臨時会において満場一致で議決された「男子型企業誘致と産業廃棄物最終処分場のセットでの受け入れを白紙撤回する」という議員発議案が出され、その内容を一部修正することで話し合いがまとまり、採決の結果全議員が起立し、満場一致で可決されました。

議会の議決を尊重してセットで受け入れることにしていた村では、今回さらに「白紙撤回」という満場一致の議決がなされましたので、産業廃棄物最終処分場の設置受け入れについては、積極的に推進しないことにしました。

広報しうらでは、今までの経過を踏まえ、議会特集号として情報を提供することにしました。

産廃処分場受け入れについては 白紙撤回する

相澤 治議員

提案理由

昨年十月十六日の臨時議
会において、地域の活性化を
図るため「男子型の企業誘致
と産廃処分場」をセプトで受
け入れるという委員会の報告



提案理由を述べる相澤議員。後方が浜田議長

書を満場一致で採択しました。
しかし、住民の反対の声も
非常に多く、現に村長のリコ
ール運動にまで発展しており、
議会としてもこれを無視する
ことができない現状となつて
いる。

村長も満場一致の議決を尊

重し、これを村の主要施策と
して、そのための努力をされ
てきたことは衆知のとおりで
あります。
しかしながら、いま、満場
一致の議決は形骸化し、去る
者は去り、或いはまた村長リ
コールに加わるなど、議会の
議決が全くふみにじられてい
ます。

議会の議決を尊重して努力
している議員に対しては、産
廃を中止できないのは、その
裏に疑惑があるように宣伝し
ているのが現実です。
今、村では、長引く不況や、
稲作の冷害対策などで行政の
停滞は許されない時でありま
す。

このとき、村を二分して、
長期間にわたつて、村民を政
争に巻き込むことは、村の將
来のため絶対避けなければな
らぬことだと思います。
議会の責任を棚にあげ、そ
の責任を村長になすり付けて
いるが、この産廃問題でリコ
ールを受けるのであれば、それ
は村長ではなく、我々議会同
人であればならない筈です。

この際、産廃を中止できな
いのはその裏に何かがあると
いう疑惑に対し、身の潔白を
内外に表明するたためにも、今
議会で、産廃の白紙撤回をす
ることが議会の責任であり、
良識でもあると思います。

従つて

昨年十月十六日の臨時議
会で満場一致で採択された企
業誘致対策特別委員会の報告
書の議決を白紙撤回とする。
なお、産廃については村に
全く職務権限がないことであ
るから、村議会は、今後
とも直接的な責任を負うもの
でないこと。

以上について市浦村議会に
おいて議決する。
平成五年九月六日
提案者 相澤 治村議会議員
賛成者 笹山精喜村議会議員
賛成者 成田長代村議会議員

この不況の時期に 行政の停滞だけは 避けたかった……

浜田 春士議長

男子型企業誘致と産廃廃棄
物最終処分場受け入れについ
ては、昨年六月の定例会議に
おいて議員十四名全員で特
別委員会を設置し、現地視察
等を実施、検討を重ねて昨年
十月十六日の臨時議会にお
いて、満場一致で受け入れを
採択いたしました。

ご承知のように男子型企業
は、産業機械製造販売業の三
商株式会社(本社岐阜県可児
市、近藤間 代表取締役)で
あり、計画ではゴルフクラブの
グリーン等に用いられる耐熱
特殊ペーパーを製造し、初年
雇用には村内から男性三十人
を回す予定、三年後には五十人の
雇用を見込むというもので、
過疎化と、超高齢化の進む
本村にとって、男性の雇用が
増える願つてもない機会です。

村の活性化のためにも、産廃
処分場の安全性を確認し、受
け入れを決めたものでした。
しかしその後、産廃反対期
成同盟会による受け入れ反対
署名運動がおこりました。

議会としては、男子型企業
と産廃処分場をセプトとして
受け入れ決議をした責任上、
産廃反対期成同盟会と行政
議会の三者による懇談会を申
入れられました。

八月三十一日には産廃反対
期成同盟会を進めてきました。
八月三十一日には産廃反対
期成同盟会による、村長、コ
ール署名簿審査が村選挙理
委員会に提出され、この状
況の下で開会された第三回定
例会議において、「産廃廃棄
物最終処分場受け入れについ
ては白紙撤回する」という主
旨の発議案が提案され満場
一致で採択されました。

しかし、村長リコール運動
については続けられ、もはや
政争との声も日増しに強くな
り、長引く不況と、行政の停滞
を回避するため、九月二十九
日の全員協議会の決定を受け
産廃反対期成同盟会に協議会
の申し入れをいたしました。
しかし、産廃反対期成同盟
会からは遺憾ながら協議会拒
否の回答がされ、村長リコー
ルが回避できなかったことは
誠に遺憾であります。
以上これまでの村議会にお
ける経緯を申し述べ、村民各
位のご理解をお願い申し上げ
ます。

● Report

白紙撤回までの経過

平成4年6月9日

特別委員会を設置

平成4年第2回定例会で、全議員による企業誘致対策特別委員会を設置。

6月24～26日

企業誘致視察研修

男子型企业「三商KK」及び愛知県名古屋市環境事業局「愛岐産廃処分場」を視察。工藤武則議長(当時)ほか13名が視察。



視察研修をした村議会議員

7月7日

第1回委員会

視察研修の結果を検討。

7月21日

第2回委員会

企業誘致優先を確認。

8月7日

第3回委員会

近藤新一三商KK社長来村。工場建設について協議。

8月24～25日

県内産廃事情視察研修

三戸郡南郷村において、産廃情報の収集。県庁産廃担当者から、県の考え方等を研修。青森市鶴ヶ坂処分場の現地視察を実施した。

9月9日

第4回委員会

視察の検討。



地域懇談会(相内地区)で説明に耳を傾ける村民ら

9月17日

第5回委員会

産廃事業予定者の出席のもとに開催。村と公害防止協定を結ぶことについて協議。

9月29日

委員会報告書提出

6月以降調査を重ねてきた結果、企業誘致ならびに産廃処分場について、受け入れをする報告書を委員会として、採決した。

10月16日

臨時村議会

報告書を満場一致で採択。

11月4日

企業誘致対策に関わる懇談会

村内各団体長等と議員の合同懇談会を開催し、対策経緯などについて報告するとともに、疑問点について回答。

平成5年3月22日

工場立地協定調印

三商KK工場立地基本協定書及び工場用地賃貸借契約書の締結調印を行う。

4月11～14日

産廃施設説明地域懇談会

村内5会場で開催。説明者は村、議会、事業予定者が行い、227人の村民が出席した。

7月7日

議員全員協議会

三商KKより工場建設計画の申し入れにより、地鎮祭等の日程について協議。

7月27日

工場建設工事地鎮祭

工場用地において、地鎮祭が挙行された。



地鎮祭の様子

9月9日

報告書白紙撤回議決

議員発議案により、平成4年10月16日採択された企業誘致対策特別委員会報告書の議決を白紙撤回をすることが、満場一致で議決された。

NHK大河ドラマ「炎立つ」 十三湊ロケ決定

第3部「黄金楽土」の十三湊の
シーンと炎紀行のロケが11月中旬
に決定いたしました。

一般質問

村長の執行権で独自の判断が……質問者 村長…村議会の議決は村の意思決定

9月定例会の一般質問は、質問と答弁の主旨を要約して編集しています。(文中の問は質問で、答が答弁です。)

問 男子型企業誘致と産廃処分場をともに受け入れるという村議会の立場、一致の議決がなされたが、その反面、住民の反対運動が盛り上がっているわけで、村長は必ずしも議会の議決に抱束されることなく、村長の執行権で独自の判断があってもよかつたのではないかと。村議会の議決は村の最高意志決定であり、基本的には尊重されるべきものだと思います。

答 問題の現状認識が違ってれば別だが、地域で将来を考えての、男子型企業の誘致は、私の理念と一致するものであり、その方向で行政を進めたいところであります。

問 村長は辞任して、村民に信を問う意志はないのか。

答 結果として村長リコールということになりましたが、議会とともに歩んできた道であり、村の将来を考えて進めてきた政策であり、村長のみ悪者のようにされ、村民の審判を仰ぐことになるのは、非常に残念なことであります。

問 白紙撤回発議案に「疑惑」という言葉がある。村長は街頭演説でも取り上げていたということか。

答 反対同盟では、しきりに我々に対して、疑惑があると宣伝している事実がある。

私は、大きな憤りを持っており、政治家としてその疑惑は晴らさねばならないので、街頭で不特定多数の住民に訴えた。

問 議会の満場一致を尊重すると言いつつも、全員協議会で地鎮祭の協議をしたとき、時期尚早との意見もあった。七月二十七日に、地鎮祭を強行したのはなぜか。

答 満場一致の議決だから、しやにむに進んできたということではない。

むしろ満場一致の議決を公然とくつがえし、住民の声だからといって反対運動に回った議員の行動こそ逆に指摘したい。地鎮祭の先延ばしも、反対の会との話し合いがあるから、三回も企業側に延期してもらって決めた。企業に対しては、県の誘致企業にも指定いただき、三月に立地基本協定を結んでおり、議会ともお願いしてきたわけであり、その要望に答えて、企業が判断したものであり、誤解のないようにしていただきます。